

国連生物多様性の10年における 民間の取組・成果集約と国際発信による 次期国際枠組への貢献

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

国際動向報告交換会の参加者 **210人**

新規の愛知ターゲット活動宣言 **119件**

今年度計画の達成度 **75%**

目標達成度 **30%**



COP14報告会・意見交換会の様子

活動内容と成果

活動の柱として、生物多様性条約関連会議への出席を通じて、ポスト愛知目標を含む国際動向を把握・発信すると同時に日本から発信すべき成果を検討した。関連事業のウェブ発信（50本以上のウェブ記事）、報告会（7回・210人参加）を実施。政策から現場の経験まで、今後の活動につながる意見の共有を行った。もう一つの活動として、次期目標の担い手ともなるユースの育成を実施した。ユースネットワーク構築の支援を行い、27人以上がネットワークに参加、その中から国際会議等への参加機会を計11人に与えた。

課題

愛知目標の合意から7年が経過した。2020年までの目標達成に向けてさらなる取組強化と共に、10年の成果の把握と次期目標への日本からの提言プロセスを作る必要がある。

目標

日本の民間を中心とした愛知ターゲット達成の取組と成果をまとめ、国内外に発信することを軸に、次期目標の担い手となるユースの参画や能力養成を図ることを目指す。



国際会議で発言する日本ユース

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

生物多様性の優良事例のまとめ方について、さまざまな切り口の中、次期目標設定と実施に資するアプローチの検討に時間を要した。

■ 工夫した点

国際会議期間中の発信の充実に加え、報告会を東京以外でも意識して実施した。次年度に向けた協体制作りも同時に行了た。

| 活動地域 |  日本全国

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10
ミトヨビル2F
電話：03-3553-4109
E-mail：iucnj@nacsj.or.jp
<http://bd20.jp/>



今後の
展望

ユースネットワークの発展にも力を入れつつ、国連生物多様性の10年：2011～2020の集約、特に日本における生物多様性保全に関する多様な連携事例をまとめ、発信することを2019年度は目指していく。

